

# あぐりすと特別企画 (全5回) 谷井靖夫さんの0から始める農業奮闘記 第1回

谷井靖夫さんのプロフィール：平成26年に小千谷市長を退任し、昨年新規就農



▲養液土耕栽培用コンテナに苗の定植作業を行う谷井さん

昨年トマトの養液土耕栽培を始める以前には農業経験は皆無に近く、家内の家庭菜園の手伝いで、せいぜいトウモロコシの支柱を立てるくらいのことしかしていませんでした。

そんな自分がなぜ突然トマト栽培をする気になったかですが、知り合いのご夫婦でトマトの養液土耕栽培をされている奥様から「楽しいよー」と言う言葉を聞きました。私も公職を退いた後、何か毎日を積極的に過ごす道はないものかと思案していたところでした。

で、その一言が背中を押しました。

いきなり未経験のことをやって、はたして大丈夫かという不安はありました。が、養液土耕栽培が、私のような「ド」が付く素人にも取り組みやすいように見え、また、分からないことがあっても、周りの経験者に教えてもらえば何とかなるだろうと楽観論で行くことにしました。実際、私の期待通り、県の指導員、JAの職員、それに養液土耕栽培組合員の方々から色々教えてもらうことができ、とても有り難かったです。

そんな調子で昨年は春から秋まで、トマトだけが全ての毎日でした。色々と大変なこともありましたが、努力すればするだけの結果が出て来る喜びも感じさせてもらいました。

昨年の経験を生かした今年の出来栄はどうか、次号以降で報告します。

## 養液土耕栽培とは

### 【養液土耕栽培システム】

培地の上に点滴チューブを配置して育成に合わせ、液肥を均一にかん水施肥する栽培方法

#### 〈メリット〉

- 野菜栽培で最も難しいかん水、施肥管理が均一にできます。
- 機械が自動的にかん水、施肥を行うため作業省力化が図れます。

養液土耕栽培のハウス見学・お問い合わせは  
JA越後おぢや園芸特産課まで ☎83-3427

▶実証圃場ハウス



▶液肥混入機



▶点滴チューブ

